

**1. 今月の活動; パキスタン支援、緊急貧困対策基金/融資枠の創設、草の根技術協力。****【 日本政府がパキスタン支援に最大約1,000億円 】**

日本政府と世界銀行が主催する「パキスタン支援国会合」が4月17日、都内のホテルで開かれた。経済危機が続くパキスタンの貧困の改善や保健、教育分野等に向けた同国政府の取り組みを後押しするため、今後2年間で総額50億ドル(約5,000億円)超を拠出することを決めた。会合は、パキスタンでの貧困とテロの連鎖を絶つのが狙いで最終的に日本、米国、中国、イランなど31か国、18国際機関が参加した。日本は昨年11月に国際通貨基金(IMF)が策定したプログラムを着実に実行することを前提に、最大10億ドル(約1,000億円)の支援を表明。米国も10億ドルを拠出する方針を示した。日本政府は今回の会合で、支援総額40億ドル(約4,000億円)を目指してきた。しかし、隣国アフガニスタンの治安にも影響を与えるパキスタンへの関心の高さから、中東、アジア諸国も支援を表明し、支援額は当初の想定を上回った。支援国会合に先立ち、パキスタンの政治的安定に向けた中期的戦略を協議する「フレンズ(友好国)会合」が行われた。各国はパキスタンの経済改革を支援することを確認した。

**【 緊急貧困対策基金/融資枠の創設 】**

世界銀行と国際通貨基金(IMF)の合同開発委員会が4月26日、ワシントンで開かれ、日本政府は経済・金融危機の拡大で深刻化する途上国の貧困層対策として、世界の貧困層を支援するプロジェクトに本年度から今後3年間で2億ドル(約196億円)を拠出し、世銀内に「緊急日本社会開発基金(仮称)」を創設する方針を表明した。日本は2000年、日本社会開発基金(JSDF)を世銀に設け、累計4億ドルを拠出してNGOなどが途上国で展開している貧困対策事業を支えてきたが、世界的な不況の拡大で、途上国の食糧援助など一般的な貧困支援に支障が生じていることから、日本政府は支援対象を広げ、革新的なプロジェクトを支援するとともに、他の地域でも実施できる、より柔軟な新しい基金を創設する必要があると判断した。

また、アジア開発銀行(ADB)の黒田東彦総裁は5月2日、インドネシアのバリ島で記者会見し、途上国の貧困対策や雇用対策向けの貸出制度として、2009~10年の2年間に新たに30億ドル(約3,000億円)の融資枠を設けることを表明した。ADBの09~10年の融資総額は、07~08年の2年間に比べ、約100億ドル多い320億ドルとなる見通しだ。

**【 草の根技術協力事業に約60億円拠出の予定 】**

日本政府は、経済危機対策(雇用対策)の一環で草の根技術協力事業として約60億円をかけて日本の優秀な人材を海外に派遣し約1,000人の雇用を創出することを表明する予定。草の根技術協力事業は、日本のNGO、大学、地方自治体、及び公益法人の団体等がこれまでに培ってきた経験や技術を活かして企画した途上国への協力活動を、JICAが支援し共同で実施する事業である。開発途上国の人々の生活改善・生計向上に直接役立つ保健や教育といった基礎的な生活分野を中心として、政府対政府による国際協力事業では十分手が届き難い草の根レベルのきめ細やかな活動が行われる事業を対象としている。

リザルツは、政治家やメディアと協力し、貧困に苦しむ人々の声を政策に反映させ、「貧困と飢餓のない世界」を創ろうと活動している国際市民グループ(NGO)です。日本の他、米国、カナダ、英国、フランス、豪州、ドイツ、メキシコなどで活動しています。日本リザルツは1989年の発足以来、ODA(政府開発援助)政策において、貧困削減への費用対効果が高く、且つ、顔の見える援助政策について、政府に提言しています。リザルツのユニークな活動方法は、草の根の市民から、国務長官のヒラリー・クリントン氏、経済学者ジェフリー・サックス氏、元南アフリカ大統領ネルソン・マンデラ氏など世界の著名人達に至るまで、幅広い層の支持を得ています。マイクロクレジットでノーベル平和賞を受賞したグラミン銀行のムハマド・ユヌス氏は、日本リザルツの名誉顧問です。

## 2 . 国際連帯税

4月4日、国際連帯税を推進する市民の会(アシスト)設立総会&記念シンポジウムが豊島区勤労福祉会館にて予想を超える大勢の方々が参加し開催された。アシスト共同代表に選ばれたオルタモンドの田中氏の開会挨拶に続き、横浜市立大学の上村准教授と立命館大学の三木教授がそれぞれ基調講演を行った。その後のパネルディスカッションでは、横浜市立大学の金子教授をモデレーターに、同じく共同代表に選ばれた世界連邦の小林氏、日本リザルツの白須、基調講演を行った上村准教授、三木教授のそれぞれのパネラーと会場の出席者との間で活発な議論が交わされ、最後にアシスト事務局長の千村氏の閉会の挨拶があった。

また、4月20日、第1回国際連帯税推進協議会(寺島委員会)が参議院議員会館にて開催され、委員として浅岡美恵氏(気候ネットワーク代表)、稲場雅紀氏(アフリカ日本協議会)、犬塚直史氏(参議院議員/国際連帯税創設を求める議員連盟事務局長)、上村雄彦氏(横浜市立大学准教授)、金子文夫氏(横浜市立大学教授)、小西雅子氏(WWFジャパン気候変動プロジェクトリーダー)、白須紀子(日本リザルツ事務局長)、田中徹二氏(オルタモンド事務局長)、オブザーバーとして財務省の仲浩史氏(国際局開発政策課 課長)ら、外務省の植野篤志氏(国際協力局多国間協力課 課長)、貴島善子氏(国際協力局人道支援室長 気候変動室交渉官)ら、環境省の上田健二氏(地球環境局総務課 課長補佐)が、参加した。国際連帯税に関する国際的・国内的議論の経緯が説明され、1)国際連帯税推進協議会の目的、2)活動案、3)今後の進め方が提案され、議論が交わされた。その後、寺島実郎委員長が参加され国際連帯税創設を求める議員連盟の津島議連会長はじめ総勢約30名の議員との合同協議会が開かれ、ここでも熱い議論が続いた。

## 3 . ストップ結核パートナーシップ

ドミニカ共和国で新しい国別パートナーシップが誕生し、同時に多セクターのメンバーによって構成されるストップ結核委員会が設置された。保健大臣が出席して祝辞を述べたほか、地元で献身的な活動を続ける団体の理事長がストップ結核大使に任命された。また、マルコス・エスピナル氏(ストップ結核パートナーシップ事務局長)は大統領夫人に表彰を受けた。MDR-TBの蔓延が著しい27カ国が参加する大臣級会議が、中国政府、WHO、ビル・ゲイツ財団の主催の下、3日間北京で開催された。この中で中国政府とビル・ゲイツ財団は、診断や治療を通じて当面は2,000万人、5年間で1億人を対象とするMDR-TB対策のための3,300万ドルのプロジェクトを発表した。会議に出席したマーガレット・チャン氏(WHO事務局長)は、MDR-TBは時限爆弾のようなもので潜在的な脅威であるにもかかわらず、世界経済が失速するなかで必要な対策が賄われていないと警戒を示す演説を行った。

## 4 . マイクロクレジット      スタッフ   三澤   千和

### マイクロクレジット近況報告(4)

4月15日、マイクロクレジット(以下、MC)に関するアドボカシー・アクション戦略会議が開催され、一般から4名とシニア・アドバイザーの岡本さんが参加された。MCについては、3回シリーズで行われる予定で、第一回の今回のテーマは、「マイクロクレジット・サミット・キャンペーン2009について振り返る」であった。会議ではまず、米国リザルツ創設者が開催する世界的な会議であるマイクロクレジット・サミットと、それをもとに刊行されるマイクロクレジットサミット・レポートについて説明された。続いて、2009年レポートをもとに、2007年末で、一日1ドル以下で生活する最貧困層の1億世帯とその家族5億人がMCを享受したことが報告され、特に、ケニアで物乞いに融資を行ってきたJamii Boraの設立者、Ingrid Munro 女史の活動について話し合われた。中でも、スラム生活から脱却させるための、画期的な住宅ローンプロジェクトに関しては、数年に渡って反対勢力と戦い、裁判での勝利を勝ち取った女史のプロジェクトに対する熱い思いが評価された。その一方で、より豊かな生活を送ることが出来るようなプロジェクトを行うより、もっと多くの最貧困層に融資を広める方が大事なのではないかという、率直な意見も出された。第二回は5月20日、MCの透明性が議題となった、2008年のマイクロクレジット・サミット・アジア太平洋地域会議について復習する予定である。どうぞお楽しみに。

## 5. パートナー 結核患者さんからの声 ブログ <http://ameblo.jp/aikyo55/>

私は2006年5月から半年間、肺と腸の結核で入院。入院時 163.5cm /36kg、ガフキー10！

30歳そこそこで死ぬと思われていた？重症でした。最初は自分が一番偏見を持っていたので結核になって正直傷つきました。でも闘病中は病院の方々、同じ病気の戦友達と共に助け合い、また結核予防法のお陰で入院費用は無料で、何の心配もなく楽しく？半年間闘病、無事退院出来ました！

詳しくは闘病記ブログで！『あいきよの楽しい(結核隔離病棟)闘病記<回想録> <http://ameblo.jp/aikyo55/>』

結核によって肺の空洞にカビが付く！入院中はそんな「オマケ」があるとは夢にも思わず...。2008年7月肺アスペルギルスに。現在1日約500円するカビの薬を服用中。退院後結核について勉強中ですが...多剤耐性結核などもあり結核はしつこく、奥の深い病気です。先日のお笑いタレントの結核報道では、本当の結核の現状が伝わっていないと痛感。結核病棟は採算が悪いと閉鎖され、国は結核対策を縮小していると聞きます。このような状況で今後本当に大丈夫でしょうか？結核はまだ無くなっていません！ネットカフェなどで罹患してしまう若い人も増えているのが現実です。ブログを読んだ方からは「結核って昔の病気だと思っていた！」「結核=すぐ感染じゃないとわかった」「同じ病気で闘病中、勉強になる！」「医療関係者ですら偏見を持っている人がいます」等々...。みんなが安心して治療できるよう！もっとたくさんの方に結核について正しく知ってもらい、身近に考えてもらえればと願うばかりです。

ガフキーとは、肺結核に罹患している患者の結核菌量を示す指数で値が高ければそれだけ菌の量が多いことを示す。

## 6. アドボカシー・アクション戦略会議 / 説明会の開催スケジュール

～内容や日時等が変更されることもございますので、詳しくは、日本リザルツのホームページをご覧ください～

### 【アドボカシー・アクション戦略会議】

「ハリセンボン騒動から考える結核問題について」	5月 15日(金)	午後7時00分-8時00分
「マイクロクレジット実施機関の透明性について」	5月 20日(水)	午後7時00分-8時00分
「子どもの貧困、なぜ最貧国=日本なのか？」	5月 30日(土)	午後1時00分-2時00分
「ハリセンボンの結核騒動、その後」	6月 1日(月)	午後7時00分-8時00分
「外国人選挙権の課題と法整備」	6月 6日(土)	午後1時00分-2時00分
「マイクロクレジット・アップデート」	6月 10日(水)	午後7時00分-8時00分
「金融危機が及ぼす開発資金への影響」	6月 12日(金)	午後7時00分-8時00分
「食糧問題とイカ・タコ」	6月 13日(土)	午後1時00分-2時00分

【説明会(日野市)】「日本リザルツの活動について」 6月 21日(日) 午後3時00分-4時00分

## 7. お知らせ

### 【第2回国際連帯税推進協議会(寺島委員会)】

5月12日(火)の午前9時30分-11時30分 参議院議員会館 仮庁舎1F 第2会議室にて開催される。

### 【国際連帯税を推進する市民の会(アシスト)第1回運営委員会】

5月22日(金)の午後6時30分～ 文京区民センター「3-D」会議室にて開催される。

### 【アフリカン・フェスタ】

5月16日(土)～17日(日) 初日:12時～最終日:午前11時～午後5時 横浜赤レンガ倉庫にて開催される。

### 【ストップ結核パートナーシップ日本(STBJ)常任理事会】

5月21日(木) 午後4時30分～午後5時30分 結核予防会の水道橋ビル・小会議室にて開催される。

### 【世界版ストップ結核パートナーシップ AAC(アドボカシーアドバイザーズコミッティ)会議】

5月21日(木) 午後9時～(日本時間) 電話会議にて開催される。

当マンスリーレターに関するご質問・ご意見などございましたら [results.japan@gmail.com](mailto:results.japan@gmail.com) までご連絡ください。

ご寄附のお願い:世界の貧困・保健問題の解決のため、政策提言活動を行っております。持続的な活動を続けるためにご支援をお願いいたします。郵便局の払い込み用紙に、口座番号00170-9-581459(加入者日本リザルツ)とご記入ください。